

2011年度の連邦研究開発センターの研究開発費は約178億ドル(3月)

米国科学財団 (National Science Foundation : NSF) が行った年次調査「2011年度米国科学財団連邦研究開発センターにおける研究開発費歳出調査 (FY 2011 NSF FFRDC R&D Survey)」のデータによると、2011年度の連邦研究開発施設 (federally funded R&D center : FFRDC) 40機関による研究開発 (R&D) 費歳出額は約 178 億ドルであったという。このうち、97.6%にあたる 174 億ドルの R&D 費は、2009 年米国再生再投資法 (American Recovery and Reinvestment Act of 2009 : ARRA) により拠出された約 8 億 5,000 万ドルを含む連邦予算でまかなわれており、それ以外の R&D 費は、企業 (1.1%)、非営利団体 (0.3%)、州及び地方政府 (0.2%)、その他の資金源 (0.8%) から拠出されている。2011 年度のその他の傾向としては、①同年度の FFRDC における R&D 費の内訳は、基礎研究活動 37%、応用研究 29%、開発 34%、②同年度の R&D 費歳出額が 10 億ドル以上であった FFRDC は、米航空宇宙局 (National Aeronautics and Space Administration : NASA) のジェット推進研究所 (Jet Propulsion Laboratory、カリフォルニア州) 以外は全てエネルギー省 (Department of Energy) 傘下の国立研究所、③2008 年度から 2011 年度の間 FFRDC による R&D 歳出額は 20 億ドル (14%) 増加、などが挙げられる。

National Science Foundation, Federally Funded R&D Centers Spend \$17.8 Billion on R&D in FY 2011

<http://www.nsf.gov/statistics/infbrief/nsf13316/>